

インドのビジネスと金融

フランクリン・テンプルトン、市場の混乱を受けて30億ドルのインドファンドを閉鎖

米投資グループが資産運用業界に衝撃を与える可能性のある引き出しを停止



米国のファンドグループのインド支社は金曜日、いわゆる信用リスクファンド6社の引き出しを凍結すると発表した © Bloomberg News

ニューデリーのベンジャミン・パーキン 2020年4月24日

無料アップデートで最新情報入手

インドのビジネスと金融に関するmyFT ダイジェストにサインアップするだけで、受信トレイに直接配信されます。

メールアドレスを入力してください

サインアップ

フランクリン・テンプルトンは、新型コロナウイルスのパンデミックがインドの債券市場に大混乱をもたらしたのを受け、インド国内の投資信託6本を閉鎖した。これにより、30億ドル以上の投資家の資金が拘束され、資産運用業界全体にさらなる混乱が生じるリスクが高まっている。

全世界で約5,800億ドルを運用する米国のファンドグループのインド支社は、高金利の低格付け債券に投資する6つのファンドからの資金引き出しを停止し、解散すると発表した。

この決定はインドの顧客に影響するが、投資家が新型コロナウイルス感染拡大への警戒から償還を増やしたことを受けて下された。アジア第3位の経済大国であるインドは、ウイルス感染拡大防止策の一環として、ほぼ5週間にわたりほぼ閉鎖状態にある。

「この経済の混乱と減速は投資家の間にパニックを引き起こしている」と、アクイット・レーティングスのスマン・チョウドリー社長は語った。「これは悪循環だ。より多くの投資信託に波及する恐れがある」

アナリストらは、今週時点で運用資産が2590億ルピー（34億ドル）に上るゲートファンドの投資家が資金を取り戻すには何カ月、あるいは何年もかかる可能性がある」と指摘した。

フランクリン・テンブルトンのインド支社は声明で、ファンドの解散は「ユニット保有者の価値を維持し、このような前例のない状況下ですべての投資家が秩序ある公平な撤退を可能にする唯一の実行可能な選択肢だ」と述べた。

しかしアナリストらは、今回の動きはインドの新興投資信託業界に衝撃を与える可能性があり、個人投資家や法人投資家が債券ファンドからさらに資金を引き揚げれば、他の資産運用会社も同様の措置を取らざるを得なくなる可能性がある」と指摘した。

業界団体のインド投資信託協会は金曜日、他の債券ファンドからの償還を阻止しようとした。同協会は投資家に対し、「投資目標に集中し、ファイナンシャルアドバイザーに相談し、1つのファンド会社のいくつかのスキームにおける単発的な出来事に惑わされないよう」要請した。

これは起こるべくして起こった災害だった

サウラブ・ムケルジェア、マーセラス・インベストメント・マネージャーズ

インド中央銀行はここ数週間、信用市場の流動性を高める措置を講じてきたが、効果は限定的だった。アナリストらは、インド準備銀行が今後さらなる措置を講じる可能性が高いと指摘した。

インドでは近年、何百万人もの個人顧客が初めて株式や債券に貯蓄をつぎ込んだことから、投資信託への投資が急増している。

しかし、それはインド経済の減速の打撃を受け、利回りを求めてよりリスクの高い投資に飛びついてしまった資産運用会社にとって厄介な状況を引き起こした。

それが今、彼らを苦しめている。ファンドマネジャーたちは、企業の債務不履行の増加、特に過去18カ月間に起きた多くの貸付業者の注目を集めた破綻によって痛手を負っている。先月イエス銀行が破綻寸前となり、フランクリン・テンプルトンなどが運用するファンドが投資していた10億ドル以上の高リスクのルピー建て債券が[消失した](#)。

フランクリン・テンプルトンの閉鎖について、マーセラス・インベストメント・マネージャーズの創設者サウラブ・ムケルジー氏は「これは起こるべくして起こった惨事だ」と語った。「彼らは最初に撤退した。最後になる可能性は低い」

[Copyright](#) The Financial Times Limited 2024 .無断転載を禁じます。
